

北 翔



2018 新年号

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

も く じ

ごあいさつ (一社)北海道ビルメンテナンス協会 会 長 山田 春雄	1
北海道知事 高橋はるみ	2
札幌市長 秋元 克広	3
東北・北海道BM協議会	4
第55回優良従業員表彰式	5
平成29年度労働安全衛生大会	7
平成29年度労働災害防止論文	16
平成29年度労働災害防止標語	21
各地区協議会トピックス	23
新会員紹介	23
ビルメンひろば	32
編集後記	34
広 告	35

表 | 紙 | 説 | 明

提供者 協和総合管理(株)苫小牧営業所 鈴木 仁 さん 平成29年12月20日撮影

ウトナイ湖……国道36号に面し、「新千歳空港」、「苫小牧フェリーターミナル」に近く、交通アクセスに優れた地域です。また、国指定鳥獣保護区、ラムサール条約の登録湿地であり、北海道の豊かな自然を満喫できる最高のロケーションです。





年 頭 所 感

「ビルメン業界の新たな飛躍に向けて！」

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会 長 山 田 春 雄

新年明けましておめでとうございます。

平成30年の輝かしい幕開けにあたり謹んでお慶び申し上げます。

さて、近年の我国を取り巻く状況は、国の安全保障体制や海外で多発するテロ、緊迫する近隣諸国との関係、さらにはTPPの方向性や、国内・国外の経済の動向など、厳しい政治・経済情勢が続いております。

このような中、ビルメンテナンス業界もデフレ経済から一応脱却はしたものの、国の経済政策や日銀の金融緩和政策などの効果の実感は薄く、また、深刻化する人手不足や最低賃金の大幅なアップなど、依然として厳しい経営環境は変わることなく、当協会の会員企業も大変な苦勞をしております。

これらに対応した新たなビルメンテナンス協会組織を強化するため、全国ビルメンテナンス協会の事業も大きく変革してきております。

その具体的な事例として、ビルクリーニング技能士の検定試験を単一等級から、一級から三級の複数等級に改正し、障がいのある方や外国人にも技能士の道が開かれ、より多くの方が仲間に入っていただけるようになりました。

また、外国人の技能実習制度にビルメンテナンス業も追加されたことに伴い、全国的にベトナムなどの実習生を受け入れておりますが、北海道でも実習生を受け入れがはじまり、本年2月には外国人実習生を対象とした「基礎級」の実技検定試験を北海道として初めて実施する予定となっておりますことから、外国人技能実習生の受け入れは業界の発展に大いに寄与するものと期待しているところです。

また、全国協会の独自資格制度でありますインスペクター制度が改正され、これまでの三つ

の資格から一つに統合され、資格を取得するまでの期間が短縮されたことに伴い、より多くの方々が資格を取得されることを期待するとともに、当制度が着実に推進され実績を積み重ねることにより、早期に社会的に認知され、近い将来、国家的資格になることも大いに期待しているところであります。

このような状況の中で、北海道協会も全国協会の事業に全面的に協力することとしておりますが、厳しい財政状況などから、組織体制の強化対策や財政の見直しなどにも独自に取り組んでいるところです。

しかしながら、当業界を取り巻く厳しい経営環境の根源的な課題は、ビルメンテナンス業務の役務契約において、発注者には賃金や法定福利費などの負担義務がないことであるため、「発注者も最低賃金や法定福利費等の負担に対する保障責任を負うこととする。」という労働関係法令の改正を早急に行う必要があります。

この実現のために、北海道協会としては、顧問の国会議員・道議会議員・札幌市議会議員の皆様や、入札の改善要望において国・道・市などにも働きかけているほか、昨年9月に北海道苫小牧市で実施した「東北・北海道BM協議会」において、当該法令改正の必要性について東北6県と北海道の各協会員における意見交換を行ったところでありますが、各都府県協会におきましても同様の働きかけをしていただき、全国各協会から声を上げることが肝要であります。

さらには、その総元締めとして、全国協会が全国政治連盟や議員連盟と密接に連携を図りながら一丸となって、厚生労働省をはじめとする関係省庁などに強く働きかけをしていただき、労働関係法令の改正が一日も早く実現していただくことを念願しております。



年 頭 所 感

北海道知事

高 橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。平素から道政の推進に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年豪雨被害から暮らしと経済を立て直すため、関係機関の皆様と総力を挙げて復旧・復興に取り組み、国道274号線の開通や被災した地域での豊穡の出来秋など、うれしい知らせがありました。一方、北朝鮮のミサイル発射や自然災害など安全・安心を脅かすリスクは多く、緊張感を持って「まさか」への備えと対応を強化してきました。

人口減少・危機突破に向けて、オール北海道で地域創生を推進する中、保育料無償化など子育て支援の充実をはじめ、移住定住の促進、全国初のメディカルウイング就航など、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進め、元気な地域が増えつつあります。

国際情勢においては、日EU・EPA、TPP 11といった貿易交渉の合意など、グローバル化に伴い、「世界の中の北海道」という視点がますます重要となっています。また、北方四島における共同経済活動も進展しています。こうした中、ロシア欧露部やハワイ、ベトナムとの交流を深めたほか、海外の拠点を活用しながら、道産食品の輸出拡大や投資の呼び込みなどに取り組み、本道と海外を結ぶ航空路線は拡大し、年間230万人を超える外国人観光客が訪れ、新鮮で美味しいスイーツは海外において大変な人気です。

雪国ならではの冬のスポーツでは、アジア冬季競技大会で道産子選手の活躍が道民に勇気と感動を与えていただきました。また昨春には江差沖で104年ぶりにニシンの群来が観測され、その江差町のニシン漁による繁栄、松前町と函館市の北前船交易の歴史が、道内で初めて日本遺産に認定されました。民間企業によるロケットの打上げや、公道での車の自動走行テストなど、新しい技術への挑戦もあり、美しい自然や豊かな食はもとより、歴史や文化、スポーツ、さらには技術革新など幅広い分野で北海道の可能性を実感できた一年でありました。

今年は、北海道命名150年という大きな節目の年です。先人から受け継いできた北海道価値

と未来への展望を道民の皆様と共有しながら、世界に挑戦する環境づくりを進め、明るい未来を切り拓き、次代を担う子どもたちにとっても思い出に残る一年にしたいと考えています。

このため、世界に向けては、北海道ブランドが浸透しつつあるアジア・マーケットを基本に、新しい市場の開拓を戦略的に展開していくとともに、いかなる国際環境下にあっても持続可能な、競争力のある農林水産業づくりを進めます。また、インバウンドの加速化に向けた、国際航空網の充実や北極海航路の拠点化を進め、グローバル化に対応した交通ネットワークの充実・強化を進めます。

また、本道経済の回復基調をより確かなものとするため、働き方改革を進めながら、付加価値の高い商品づくりやICT活用など生産性の向上、人手不足の解消に向けた取組を進めるとともに、環境・エネルギー、健康長寿といった新たな成長産業を育成し、地域をけん引する力強い産業群を育てていきます。

こうした地域経済と暮らしを支える交通・物流ネットワークの形成に向けて、鉄道網やバスなど地域交通の維持、空港運営の民間委託など、地域や関係の皆様と連携・協力を図りながら、全力で取り組んでまいります。

また、北海道の創生を支える源は「人」です。数多くの方々に支えられている「未来チャレンジ基金」を活用し、昨年は将来を担う10名の若者が、夢を実現するため世界へ飛び立っています。こうした支援を拡充していくほか、新しい総合教育大綱の下、人生100年時代を見据えながら、「その先の道を切り拓く北海道人」を地域で大切に育み、若者や女性をはじめ、多様な人々が持てる力を最大限に発揮し、自信と誇りを待って活躍できる社会を目指します。

私としては、これまで取り組んできた地域創生の成果を確かなものとし、未来への新たな扉を開く輝かしい一年となるよう、全力を尽くしてまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれる年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年 頭 挨拶

札幌市長

秋元克広

新年おめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、2月にアジア圏におけるウインタースポーツの祭典「冬季アジア札幌大会」、3月には札幌で初めて行われた障がい者スキーの国際大会「IPCノルディックスキーワールドカップ」を開催し、国内外のアスリートが繰り広げる熱戦に感動と勇気をもってスタートした一年でした。市民、企業などと一体となって、これらの大会を成功裏に終えられたことは、札幌の高い「市民力」によるものと心から感謝しております。

市長に就任してからこれまでの二年半、「市民感覚」を大切に、スピード感をもって市政運営を行ってまいりました。昨年は、市内経済を活性化し、安定した雇用の場を生み出すため、今後の産業振興の方向性を示す計画「産業振興ビジョン」を改定したほか、政令市で初となる性的マイノリティの方を対象にした「パートナーシップ宣誓制度」、さらに、障がい特性に応じたコミュニケーション手段の利用を促進するため「障がい者コミュニケーション条例」を施行いたしました。また、安心して子どもを産み育てられる環境整備のため、保育定員の拡大など量・質の両面から取り組んでいます。今年も引き続き、様々な分野の施策を進めてまいります。

私たちの街は、1972年の冬季五輪を契機に、都市基盤が急速に整備され、街が飛躍的に発展しました。当時建てられた都心部の建物が一斉

に更新時期を迎える今、札幌は北海道開拓使の設置、五輪開催に次ぐ3度目の大きな転換期を迎えていると言えます。私は今こそ、札幌の街をこれからの五十年先を見据えた街につくり替え、さらにその魅力を高めていく絶好の機会だと考えております。今年の10月には、文化芸術と市民交流の新たな拠点となる市民交流プラザのオープンを予定しており、活力があふれる都心の再構築をさらに進めてまいります。加えて、オリンピック・パラリンピックを実現し、さらなる民間投資を呼び込むことで、競技施設のみならず都市基盤の更新も図り、街のリニューアルを一層加速させたいと考えております。そして、この世界最大のスポーツの祭典を、未来を担う子どもたちに夢と希望を与える機会にしたいと思っております。

私は就任時、道都・さっぽろの未来の姿として、「誰もが安心して暮らし、生涯現役として輝き続けられる街」、「世界都市としての魅力と活力を創造し続ける街」という二つの姿を描きました。その実現のために誠心誠意取り組むとともに、社会情勢の変化に応じて新たな課題に果敢に挑戦し、先人たちが築き上げた、人々を魅了してやまない街・札幌を次世代に引き継いでまいります。

どうか今年も皆様の一人ひとりのお力添えをお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年となることをお祈りいたします。

平成29年度 東北・北海道BM協議会(苫小牧・室蘭)

本年度は9月28日、29日の両日にわたり89名が参加し、北海道苫小牧市のグランドホテルニュー王子で開催いたしました。

会議は、石田信(一社)北海道ビルメンテナンス協会副会長の開会の言葉に続き、伊藤英明(公社)全国ビルメンテナンス協会東北地区本部長の挨拶、一戸隆男全国協会会長の挨拶、開催地を代表して、山田春雄北海道地区本部長が挨拶を行い、また、来賓である岩倉博文苫小牧市長より歓迎の挨拶をいただきました。

特別講演では、「スポーツを通じての人間形成」と題しアイスホッケー日本代表としてオリンピックや世界選手権に出場するなど多くの輝かしい成績をおさめられた(公財)苫小牧市体育協会本間貞樹専務理事から講演をいただきました。

会議では「入札制度に関する現状と課題などについて」を議題に、岡田知己(一社)北海道ビルメンテナンス協会副会長から「入札に関する基本的事項」や「北海道に対する平成30年度入札に向けての要望」の内容を説明した後、各県の現状等についての意見交換を行いました。

会議の模様



第55回 優良従業員表彰式

平成29年11月22日(水)12時45分より、京王プラザホテル札幌で、ご来賓、企業代表など多数のご出席をいただき、開催いたしました。

平日開催は本年度で8回目になります、会員企業において、日ごろの清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員87名と、当協会が募集した平成29年度労働災害防止論文・標語の入選者9名の方々です。表彰の栄誉に輝いた皆様にこころからお祝い申し上げます。

表彰式は3階「雅の間」で行われ、開会の辞を岡田副会長、山田会長の式辞、ご来賓の北海

道知事 高橋はるみ 様（代理 河村成彦 保健福祉部健康安全局食品衛生課長）、札幌市長 秋元克広 様（代理 高木 浩 札幌市保健福祉局生活衛生担当部長）に祝辞をいただき、ご来賓の紹介・祝電の披露があり、その後、優良従業員一人ひとりが紹介され受賞者を代表して中央ビルメンテナンス(株)久保正樹さんに表彰状と記念品が授与され、労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状、記念品が手渡しされました。

引き続き、受賞者を代表し(株)キタデンの深瀬嘉貴さんから謝辞があり、石田副会長の閉会の辞にて表彰式は滞りなく終了し記念撮影後、3階「扇の間」にて祝宴が催されました。



岡田副会長 開式の辞



来賓席



優良従業員 受賞者 全体



受賞者代表 久保正樹さん(中央ビルメンテナンス(株))



謝辞 受賞者代表 深瀬嘉貴さん (株)キタデン



石田副会長 閉会の辞



第55回 優良従業員受賞者



平成29年度 労働災害防止論文・標語入選者

平成29年度 労働安全衛生大会

(一社)北海道ビルメンテナンス協会主催で厚生労働省北海道労働局の後援を受け、全道8地区で総勢164社、500名の多くの参加者を得て開催しました。

また、厚生労働省北海道労働局長 引地 睦夫 様のメッセージを各開催地で紹介しました。

【メッセージ 全文】

平成29年度一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会の労働安全衛生大会が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

これも、山田会長様をはじめ、役員の皆様及び会員事業者、労働者の方々の、日頃からの労働災害防止に対する熱意の賜物であり、敬意を表する次第です。

また、ビルメンテナンス業に携わる皆様方におかれましては、日頃より労働者の安全と健康確保対策など労働安全衛生行政の推進につきまして、格別の御支援と御協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

さて、北海道労働局では、第12次労働災害防止計画において、平成24年と比較して平成29年までに、死亡者数を20%以上、休業4日以上の死傷者数を15%以上減少させるという2つの大きな目標を掲げ、目標達成に向け、皆様と共に全力で行政を展開しているところですが、同計画の4年目でありました昨年の労働災害は、死亡者数77人と前年同期に比べ12人増加し、休業4日以上の死傷者数につきましても6,614人と前年同期に比べ46人の増加となったところです。また、本年9月末現在では、死亡者数49人と前年同期に比べ1人増加し、休業4日以上の死傷者数は4,152人と前年同期と同数であります。第12次労働災害防止計画の目標達成に向けて一層の取組が求められる状況にあります。

一方、ビルメンテナンス業における本年9月末現在の労働災害発生状況は、前年同期に死亡災害は発生していませんでしたが、5月に天井裏の温度調整スイッチ操作中に脚立から約1.1m下の床面に転落し、頭部を強打し1人死亡しております。死傷者数は、118人と前年同期に比べ5人、率にして4.4%増加しております。

死傷災害の多くは、床や通路等での転倒が43.8%、脚立やはしご・階段等からの墜落・転落が21.1%となっており、これらの労働災害防止対策を一層推進することが重要であります。また、治療と仕事の両立支援対策及び化学物質による健康障害防止対策、メンタルヘルス対策などの健康確保対策につきましても一層の推進をお願いします。

ビルメンテナンス業にうきましましては、業務が多岐にわたっており、「高年齢労働者が多いこと」、「就業する場所が顧客の施設であること」、「就業場所が分散し、かつ少人数で就労すること」など業界特有の課題はありますが、本大会を契機として、経営首脳の方々が率先して安全衛生教育、危険予知活動やリスクアセスメント、メンタルヘルスなど、安全衛生活動を展開し、労使一体となった取組を進められ災害ゼロをめざしていただくよう強く期待いたします。

結びに、一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会の益々の発展と、会員事業場の更なる御繁栄並びに御参会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

本年は、各地区・各市の高齢相談支援センターや地域包括支援センターの協力を得て（北見・苫小牧・十勝・函館・室蘭・旭川・札幌）で、「認知症サポーター養成講座」の講演を行いました。講演の内容は、「認知症サポーターとは、認知症とは、認知症の病状、認知症の診断・治療、認知症の予防、認知症の方への接し方・対応、もし行方不明になったら」とポイントを

押さえ寸劇やDVDを上映し分かり易く話されました。少子高齢化に象徴される人口構成、高齢者に占める認知症者は2012年7人に1人が2025年には5人に1になると予想され高齢者が増え認知症者も増えていく現状を話され「地域全体でサポート」する体制が大切かつ必要と話された。また講演中に予防体操を実演していただき、講師を相手に負けるジャンケンや、両手を使い片方の指を1本先に折る状態から両手の指を折る体操を行い、なかなか上手く行かず、頭や体を同時に動かさず難しさを体験し認知症予防に大切なトレーニングと感じた、参加者の半数以上が50歳を超えており、正しく理解出来大変有意義な講演でありました。

1 北見地区大会

- (1) 10月10日(火)13:30～「ホテル黒部」にて21社46名が参加し、植原事務局長の司会進行で始まり、北見地区協議会 宮武会長の開催挨拶、主催者として道協会 中村労働安全衛生委員長より日頃の協会活動への協力に感謝と労災事故撲滅への取り組みについて、より一層の協力をお願いする旨の挨拶があり開会しました。講義・講話終了、小林副会長の閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講義……北見労働基準監督署 署長 新田武志 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止等について」と題して、管内の災害状況を解説され元々労災事故が少な

い地域ではありますがここ数年増えている状況を話され、災害事例では、転落・墜落、転倒等、重篤な災害や、死亡事故の詳細な説明がありました。安全衛生確保は作業者の不安全行動なくす「知識・技術・態度」の教育や現実的な安全管理体勢が必要と説かれ、安全安心プロジェクトに積極的に参加し、災害の防止策や、好事例を投稿し共有することで、危険を見える化し「ゼロ災害」を推進していただきたいとお話いただきました。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
北見市高齢相談支援センター西部・相内

上杉 留美 様



小林副会長(左)、宮武会長(右)



中村労働安全衛生委員長 主催者挨拶



北見労働基準監督署 新田署長様の講義



労働安全衛生大会 参加者



北見市高齢相談支援センター西部・相内 上杉留美様の講演



労働安全衛生大会 参加者

2 苫小牧地区大会

- (1) 10月18日(水)13:30～「苫小牧市民会館」にて10社49名が参加、石川事務局長の司会進行で始まり、水野会長の開催挨拶、主催者として道協会中村労働安全衛生委員長の主催者挨拶があり開会しました。講義・講話後、苫小牧地区協議会 福士副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い閉会しました。
- (2) 講義……苫小牧労働基準監督署 副署長 田口 誠紀 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、ビルメンテナンス業の災害状況・推移を統計をもとに説明され、苫小牧管内清掃業の死亡事故は0件、休業4日以上は、9月末現在15件で前年度比較-28.6%であります。労災が特別多い地域ではないと話され、労災の中で転倒災害が一番多く、軽微な怪我

から骨折し30日以上を負傷するケースもあり無視できない災害であります。特にこれからの冬期に多くが発生し報告されますので、一人ひとりが、身なり・履物、作業手順等を見直し災害減少に取り組まなければなりません。ビルメン業の特徴として、高齢者が多い・作業環境が外部で分散、北海道地域性（冬期の雪・寒さ）などあるが、特別な工夫を行う必要があり、ホームページ「職場のあんぜんサイト」を紹介され、KY活動やヒヤリハットの事例・注意喚起事例を活用し各社の安全衛生活動に活用していただきたい。また化学物質のリスクアセスメントの解説があった。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
苫小牧市東地域包括支援センター

伊藤 康代 様



水野会長 開催挨拶



中村労働安全衛生委員長 主催者挨拶



苫小牧労働基準監督署 副署長 田口様の講義



労働安全衛生大会 参加者



苫小牧市東地域包括支援センター 伊藤様の講演



福士副会長 閉会挨拶

3 十勝地区大会

- (1) 10月19日(木)13:30～「とちか館」にて20社44名が参加し開催しました。高氏事務局長の司会進行で始まり、宮前副

会長の開催挨拶、主催者として道協会中村労働安全衛生委員長の挨拶があり開会しました。

講義・講話終了後、宮前副会長の閉会挨拶で労働災害撲滅を誓い閉会しました。

- (2) 講義……帯広労働基準監督署 安全専門官 瀬戸 神津太郎 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、帯広管内の災害状況を統計資料で解説され、事故の型別で、転倒が5割、墜落・転倒が約2割、50歳以上で8割を占め、一番多い転倒災害を防止・減少させる事が、一番の改善活動であります。冬季期間まさに12月からの4ヶ月が特に転倒事故が多発する時期でもあり、“転倒災害防止”に特化したホームページを是非活用し参加企業・業界

全体で真剣に取り組むことが、災害減少の近道であります。また健康確保対策では、健康診断事後措置・化学物質・ストレスチェックをリーフレットでポイントを話された。また死亡災害事例では本年5月に帯広で発生した脚立からの転落事故を詳細に解説され、脚立・はしご作業に限定せず適切なヘルメット着用が必要であると強調。事前に危険の程度を認識し行動することで災害防止、減少になると話された。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
帯広市保健福祉部高齢福祉課

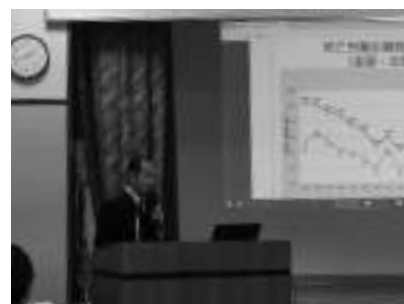
主任 吉田 沙織 様



宮前地区協副会長の挨拶



中村労働安全衛生委員長 主催者挨拶



帯広労働基準監督署 安全専門官 瀬戸様の講義



労働安全衛生大会 参加者



帯広市保健福祉部高齢者福祉課 主任 吉田様の講演



労働安全衛生大会 参加者

4 釧路地区大会

- (1) 10月20日(金)13:30～「釧路市交流プラザ さいわい」にて21社43名が参加し、釧路地区協議会本田事務局長の司会進行で始まり深井会長開催挨拶、主催者として道協会中村労働安全衛生委員長の主催者挨拶があり開会しました。

釧路地区は「認知症サポーター養成講座」を既に実施済みのため、(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会副会長 高橋 俊

彦 様に講演していただきました。

講義・講話終了後、白井副会長の閉会の挨拶では、これから冬型事故の季節を迎えます、インフルエンザ・ノロウイルスも心配される時季ですが、転倒事故や、健康対策に留意し、講話内容を実践し労災撲滅を誓い閉会しました。

- (2) 講義……釧路労働基準監督署 安全専門官 朝井 寛之 様が「ビルメンテナンス業に

おける労働災害防止について」と題して、管内の災害発生状況・災害防止対策・労働衛生対策について講義いただき、釧路管内の平成28年度の災害発生状況では死亡5件（-2件）・死傷災害513件（-32件）、ビルメンテナンス業では、死亡0件、死傷13件（+1件）であつた。起因物・年齢・時間帯・発生月の解説では50歳以上の労働者構成が高く、事故の型で一番多い転倒災害が、これから12月から4ヶ月が多発する時期であり転倒災害を減少させる事が参加企業・業界で災害減少される近道である。また、道内で脚立・はしごの死亡事故を取り上げ、注意点をリーフレットで説明し転落や飛来落下に適したヘルメットを必ず着用し万々に備える事が必要であると説かれた。はしごの使用時の詳細は注意点も丁寧に解説された。

化学物質リスクアセスメント、ストレスチェックの実施など解説いただいた。

- (3) (一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋 俊彦 様が「安全講話」災

害防止に必要なことと題し講演をいただきました。ヒューマンエラー・事故の要因、事故を防ぐために必要なことを2部に分け実例を上げ解説された。

1部…事故の要因「①知らなかった できなかった ②勘違いした ③うっかりして ぼんやりして ④やる気がない・落ち込んでいて」と項目に分け話され、事例として、転落・墜落事故で本人から話しが聴け、道具の使い方の間違い、「ブランコ作業」の特別教育の義務化を知らなかった事など話された。

2部…事故を防ぐために必要なこと「①安全教育 ②情報集める（経験値 受信力 発信力の鍛え方） ③集中力を高める ④言葉は言霊 ⑤事故をなくための会社のあり方」と項目に分け話され、「足場の組立」特別教育を協会で実施した経過、来年以降安全帯がフルハーネスに代わる情報がありました（一部例外あり）。



深井会長 開催挨拶



中村労働安全衛生委員長 主催者挨拶



釧路労働基準監督署 安全専門官 朝井様の講義



労働安全衛生大会の参加者



(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 副会長 高橋様の講演



臼井副会長 閉会挨拶

5 函館地区大会

- (1) 10月24日(火)13:30～「函館五島軒本店」にて30社71名が参加し開催しました。野戸監事の司会進行で始まり、阿相会長の開催挨拶、主催者として北海道協会山田会長の挨拶があり開会しました。また函館労働基準監督署副署 高木 俊介様よりご来賓挨拶をいただきました。講義・講演終了後、成田副会長より閉会挨拶があり、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講義……函館労働基準監督署 副署長 高木 俊介 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、管内のビルメンテナンス業の災害状況・推移

の説明があり、大半をしめる転倒・転落(脚立)の防止推進が肝要あり、作業別の労働災害の問題点を清掃・給排水・建物・設備保全・高所など作業別に示し対応することで災害防止になればとお話があり、「転倒防止について」「はしご脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう」「安全で安心な職場をつくりましょう」「健康診断実施後の措置について」他、多岐に渡り安全衛生について解説いただきました。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
函館市地域包括支援センター

四戸 悦未 様、二之宮 恵 様



阿相会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



函館労働基準監督署 副署長 高木様の講義



労働安全衛生大会の参加者



函館市地域包括支援センター 四戸様・二之宮様の講演



労働安全衛生大会の参加者

6 室蘭地区大会

- (1) 10月25日(水)13:30～「ホテルサンルート室蘭」にて7社63名が参加し開催しました。中川事務局長の司会進行で始まり、安藤会長の開催挨拶、主催者として北海道協会山田会長の主催者挨拶があり開会しました。講義・講話終了後、藍原副会長の閉会挨拶

で本日の講義・講演内容を、各社・1人ひとりが実践し災害撲滅を誓い“ご安全に”の一声で労働安全大会を閉会しました。

- (2) 講義……室蘭労働基準監督署 副署長 徳本 様が「ビルメンテナンス業の労働災害防止について」と題して、全国のビ

ルメン業における平成27年移行の死亡災害31件で年代別・経験年数、事故の型、起因物に解説いただき、事故調査等で感じた点を話され「基本的な事が出来ない、教育していないような事故が多い」、「ヘルメットが有れば助かったケース」、「親綱と安全带があれば」と災害事例を説明された。労働基準監督署の指導は、その会社で2度と同じ事故が発生させないため、会社に改善措置を徹底させます。例えば、機械に巻き込まれ事故では、巻き込まれ部分を囲い

人が接触する事を防止する改善措置、階段での転落事故では、常時ヘルメット着用させる指導をします。

また、少子高齢化が進行している中、職場のワークバランス（年休取得）が取れていない会社では、若年層の採用がなかなか叶わないと建設業の事例を話されました。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
室蘭市地域包括支援センター ことぶき

センター長 鷲津 輝朗 様



安藤会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



室蘭労働基準監督署 副署長 徳本様の講義



室蘭市地域包括支援センター 鷲津様



室蘭市地域包括支援センター 認知症の寸劇



藍原副会長 閉会挨拶

7 旭川地区大会

- (1) 11月9日(木)13:30～「北洋ホール」にて27社117名が参加し、小杉事務局長の司会進行で始まり、山田会長より開催挨拶、中村労働安全衛生委員長の主催者挨拶があり開会しました。講義・講演後、中 副会長より閉会挨拶があり、講話・講演内容を実践していただきたい。職場のコミュニケーションを良くする基本は「報連相」です。当社で清掃作業中に転倒し、その時は、転んだだけと思いきのまま普段通り過ごしていたが、翌日以降患

部(手)が腫れ痛み病院を受診し感染症と分かり本人、会社も対応に大苦労したことを話され、些細なことでも報告し「報連相」を実践し風通しの良い職場で安全衛生活動を推進し、“無事故・無災害”で「ゼロ災害」を宣言し閉会しました。

- (2) 講義……旭川労働基準監督署副署長 小原信也 様が「ビルメンテナンス業の労働災害防止について」と題して、本年10月現在管内の全産業での災害状況を話され、死傷者数は前年比べ6件増で死亡者数は3件増

と話され、4日以上休業の労災事故は死傷病報告を提出しなければなりません。出さない場合は、労災隠しになりますと注意喚起があった。また「ビルメンテナンス業のガイドライ」から安全な作業方法の確立と周知として、①共通事項②清掃作業③高所作業④健康管理対策を改めてお話しいただきビルメンテナンス業で6割超を占める転倒、墜落・転落事故を減らす事が肝要なことか

ら、ポイントをお話しになり、脚立の安全対策・雪下ろし災害・積雪による転倒など、冬期の対策を強調し配布資料を解説いただきました。「注意一秒・怪我一生」を忘れず実践する事が大切と話された。

- (3) 講演……「認知症サポーター養成講座」
 (株)えみな福祉企画

専務取締役 板橋 雅之 様



山田会長 開催挨拶加者



中村労働安全衛生委員長 主催者挨拶



旭川労働基準監督署 副署長 小原様の講義



労働安全衛生大会 参加者



(株)えみな福祉企画 専務取締役 板橋様の講演



中 副会長 閉会挨拶

8 札幌地区大会

- (1) 11月10日(金)13:30～「ビルメンテナンス会館」にて28社67名が参加し、小林副会長の司会進行で始まり、中村会長の開催挨拶、主催者として北海道協会山田会長の主催者挨拶あり開会しました。
 講義・講演終了後、中島副会長より閉会挨拶があり、講義・講話の内容を各社の安全衛生活動に積極的に活用いただき災害撲滅に活用願いたいと話され閉会しました。
- (2) 講演……札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長 富塚 豊 様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」題し講義いただき、はじめに今企業の安全衛生

対策が必要なのかでは、労働災害、過重労働等企業責任にいて、社会的な責任・民事上の責任・行政上の責任・刑事上の責任など、電通の例や道内の36協定会社で80時間を超える会社46%であること、企業（経営者）の過重労働へのとらえ方が問題で法令順守し安全配慮義務を再認識してもらいたい。電通が書類送検され、これら一連の報道で社会的信頼イメージがダウンしたと推測され、ビルメンテナンス業も同様に社会的信頼を失わない様にしなければならない。

札幌市内市役所付近で、大きなビル工事が

あり労災事故も多く、時間が許すかぎり巡回、また安全講習会を行っています。その席でヒヤリハットの報告書が少ない様です、プロ誇りを持って従事している皆さんの目からヒヤリハット報告が多く出され、情報を共有していただきたいと話し、後日の巡回で報告が増えている事を確認しています。また、北海道局・札幌署災害発生状況災害統計(状況)で、ここ数年の傾向通り同様に推移しており、災害で最も多い転倒、墜落・転落災害を減らすことが、1番の労災対策であり、北海道地区の特性で冬期に急増するこれから災害を減らす事が必要で、毎年繰り返し転倒防止対策を飽きることなく確認し継続する事が大切であります。災害事例では、平成28年12月函館のロープウェイで清掃作業中にはさまれた死亡事故で事故調査内容の詳細を話され、安全配慮に欠いた問題を指摘され作業手順・安全

対策等の教育や実施記録がない場合は、労働基準局では、安全配慮をしていないと判断しますと話され、本年5月に帯広で発生した転落事故でも、詳しい調書をしめしヘルメットを着用し作業を行う習慣を求められた。

まさに「1メートルは一命を取る」ことになった事故です。労働災害防止対策では、厚生労働省のホームページに職場のあんぜんサイトなどで、STOP転倒災害プロジェクト・災害事例、安全衛生のキーワード、リスクアセスメント、化学薬品など情報を公開しています、参加企業の経営トップの方々が率先し安全衛生教育に力を入れて、リスク・安全への意識を高め事故防止を推進し努めるようお話がありました。

(3) 講演……「認知症サポーター養成講座」

札幌市豊平区第2地域包括支援センター

川野 武人 様



中村会長 開催挨拶



北海道協会 山田会長 主催者挨拶



札幌中央基準監督署 安全衛生課長 富塚様の講義



労働安全衛生大会 参加者



豊平区第2地域包括支援センター 川野様の講演



中島副会長 閉会挨拶

平成29年度 労働災害防止論文 金賞

労働災害防止対策への提言

北海道クリーン・システム株式会社 畠 中 篤

私はJR北見駅において、駅舎・その周辺と列車の清掃作業を担当しております。

いわゆる転職組で前職では主に事務関係を担当していたため、現在の仕事についてはまったくの初心者でした。

当初は上司同僚から業務内容と同時に労働災害について、その危険性と対策の指導を受けていましたが、日々の作業をすすめるだけが精一杯で月日が経ってしまいました。

やっと仕事にも慣れて来たこともあり、この論文を機会に私なりに労働災害について考えてみたいと思いました。

これまでの仕事内容を振り返ってみると、労働災害とはいえなくとも多少のミスが発生させてしまった事は何回かありました。その後始末をする中で気がついたのは、会社からの指示・講習や事務所での掲示で、ヒヤリハット・危険予知活動（KY活動）等を通して既に類似した事象の教育を受けていた事です。

ヒヤリハットとして、過去の事例を学習すること。そして自己に起こった事例を周囲にも伝達すること。KY活動として全体の作業を俯瞰し危険箇所を予知し排除すること。どちらも教育を受けその時はわかってはいたつもりでも、ミスを犯し反省した時点でその教訓が生きていなかったことに気づいたのです。「経験してみるまでは何事も現実ではない」という諺を聞いた事がありますが、実際に労働災害を経験してしまっただけでは後戻りすることはできません。ヒヤリハット・KY活動を実際の体験の様に体に刻み込むにはどのようにすればいいのでしょうか。

それには、我々が学生の時に繰り返してきた反復学習やスポーツで用いられるイメージトレ

ーニングの手法が応用出来ると思います。

単語を覚える時と同じように、諸先輩達が蓄積したヒヤリハットの情報を定期的に繰り返し学習することで、さまざまな事例を記憶する事ができます。スポーツのイメージトレーニングは実際に体を動かさずに動いている自分を思い描き技術を向上させるもので、KY活動等で得られた情報を休憩時間等で繰り返し思い出し、自分ならどう行動するかを想定する事で、トラブル発生時でもとっさの行動ができるはずで、どちらも労働災害の兆しが現れた時に対処する行動の選択肢を広げ、事態を好転させる手助けになるでしょう。

優秀な人やベテランでも、ミスをしない人はいないはずで、という事はどんな人にも労働災害は必ず発生すると前提して行動するべきです。ともすれば、労働災害防止対策は堅苦しく面倒な印象が強くなりがちでしたが、学生時代のような繰り返し学習の根気を思い出し、自分自身の安全のための学習だと思いながらすすめれば難しい事ではないと感じられます。幸いビルメンテナンス協会や会社では、労働災害防止の為の学習機会を与えてくれています。少しでも作業経験を積んだ者は、ヒヤリハット等を通じて教えられる者から教える者へ意識の転換をはかり、全ての従業員の知識経験を共有出来るようにする努力を重ねてゆくべきだと思います。

私はこれまでのような指導を受ける立場から、問題を見つけ出し改善策を提案できるような立場をめざし学習をすすめ、トラブル発生時でも適切な行動が自然に行えるまで努力してゆきたいと思います。

平成29年度 労働災害防止論文 銀賞

労働災害体験と対策

札幌施設管理株式会社 荻田将之

私はビルメンテナンス業の仕事に携わり始めてから約4年が経ちました。それ以前は全く別業種の仕事をしてきたため、「安全」や「労働災害」について意識を持つ事になったのも、4年目という事になります。

この間、例えば「扉を開ける」「階段を上る」「荷物を運ぶ」など、以前の職場で何も考えずに行っていた単純な行動や作業の中にも、意識を持つ事によって様々な危険が潜んでいる事を見つけ驚く事がしばしばありました。

しかし、ただ意識を持って細心の注意をはらうのはもちろん大切ですが、私の場合は意識を持つ事に重点を置きすぎる余り、本来の作業効率を悪くしてしまっている事が多々あるのではないかと気づいたのです。多少の作業効率の遅れは安全を意識する上では仕方ない事だと思いますが、上司や先輩社員の作業スピードと比べてもその違いは明確なのです。

例えば「扉を開ける」時は、開けた先に人がいないかを確認する、「階段を上る」時は降りてくる人を確認しますし、「荷物を運ぶ」時は周囲に障害物や人がいないかを気に留めなくてはなりません。では「荷物を運んで階段を上がり、扉を開ける」時に円滑に安全に作業を達成するためにはどうしたらよいのか？と考える自分がいます。

先輩社員を見ていると考えているようなそぶりも見せずに、私が考えた作業手順よりも素早くそして安全に業務を遂行しているように思えます。この違いはなんなのでしょう？

労働者のヒューマンエラー（人為的問題）とは、若年層は不慣れな作業を行い、判断ミスを起こす、中堅層は自信過剰な作業を行ってしまい、情報の不確認でミスを起こすと言われております。

私は4年間の中で自信を持ってこなせるようになった作業も増えてきましたが、まだまだ技術、知識不足な作業も多いのが事実です。

それを踏まえ、違いの一つはやはり経験だと思います。その経験不足を補う為にはどうすれば良いのでしょうか？

私が所属の係では積極的に危険予知活動（KYK）を作業前に行っております。KYK中には作業員が指摘する危険のポイントの改善策、解決策を話し合う事で一日の作業のより良い安全作業を目指しております。自分が考える意見を聞いてもらって承認していただく、または「それは少し違うのではないかと改善していただく。また他の作業員の意見を聞く事で自分では思いつかなかった安全対応策が見えてきます。私の仕事は複数で作業をすることも多々ありますが、一人で作業をすることも多いです。KYKを行う事で、一人で働いていても諸先輩方のアドバイスを心に留めて作業する事がとても心強く、判断ミスを最小限に排除する事ができるのです。

私達の仕事はルーティンワークも多く作業を褒めていただく事は少なく、失敗をしてしまうと簡単にお客様からの信頼を失う事が多い業種だと思っています。そして、当たり前な事を当たり前前に遂行し、急なクレーム対応にも迅速に対応する事は安全対策の基盤をしっかりとしなければ、自分をそして他者を傷つけてしまう可能性を秘めています。私はまだまだ経験不足ではあります。しかし諸先輩方の知識や経験をしっかりと吸収し、自分自身がリーダーになった時、さらなるより良い安全に対する行動や知識を次の世代に伝えることが出来る人材になるように、日々作業に取り組んでまいりたいと思います。

平成29年度 労働災害防止論文 銅賞

コミュニケーションによる効率化と事故防止

北海道クリーン・システム株式会社 柄久保 渉

労働災害とは、どの様なときに起きるか。焦り作業や不安全行動の積み重ねは、労働災害が起きる際の大きな要因として挙げられる。これらの要因を取り除く為には、仕事を効率的に行い、日々の負担を減らしていくことが重要であると私は思う。しかし、仕事の効率化を求めあまり、ルールを無視し、手順を省く事は、事故のリスクが高まると言える。効率とは、ルールや手順など守り、安全作業の上に成り立つものでなくてはならない。

私の職場の資源リサイクルセンターでは、三つの工場で産業廃棄物の手選別及び機械処理による中間処理を行っている。各工場では、それぞれ違う作業を行っており、情報の共有が不可欠である。しかし現実には、情報の共有が不足しているため、円滑な仕事を行えない状況を課題としていた。それを解決するための新たな取り組みとして作業終了後に夕礼を行う事にした。夕礼では、日々の作業の細かな報告や翌日の引き継ぎ、作業の効率化の改善提案や、仕事を安全かつ円滑に進めるための報告・連絡・相談等を行っている。夕礼を行う事により、各工場の情報の共有化が可能となった。リーダーや作業責任者だけでなく、全従業員が各工場の状況を把握し、各々が作業を効率良く進める為にどの様に行動するべきかを考えるようになり、意見を積極的に交換するようになった。しかし、事故防止のための報告漏れ等、情報共有がまだ不十分な状態がある。例えば、事故に繋がる可能性の高い設備の不具合や基本ルールである道具の管理・保管状況など、細かい部分の報告が少ない。この課題を解決するためには、報告しやすい土壌作りから始めなくてはならない。そのため、積極的にコミュニケーションを取って

いく必要がある。職場におけるコミュニケーションとは、従業員との良好な関係を築いていき、一人一人の個性を理解する事が大切である。例えば、休憩時間中の世間話であったり、時には一緒にお酒を飲みに行ってみたり等、色々な方法があると思うが、これらを行う事により、お互いの理解が深まり、仕事を効率良く進める上で必要不可欠な報告・連絡・相談が円滑に行えるようになるのではないだろうか。

仕事の効率化を図り、事故防止するためには、コミュニケーションを密にしていき、従業員の意見を吸い上げて行く必要がある。さらにコミュニケーションを取ることで、従業員が抱えている不安やストレスなども把握でき、従業員の働きやすい環境が作られ、作業が効率良く行える様になり、不安全行動や焦り作業が減っていき、労働災害が減っていくと私は思う。そのため、コミュニケーションと仕事の安全と効率化は密接な関係にあるといえる。

私の職場においては、約2年半無事故を継続している。しかし、これは安全意識や安全対策が充分であることを意味する訳ではない。これに満足することなく、コミュニケーションを密にしていき、作業を効率化していき、焦り作業や不安全行動を減らしていくことで無事故を継続していけるのではないだろうか。

最後に、仕事とは一人でやるものではなく、人と人との連携で行うものである。従業員が同じ目標を持つことにより一丸となり、安全意識も高まって、仕事は効率化されていく。私自身もコミュニケーションを積極的に行い、従業員全員で連携を深めていき、仕事に貢献していく存在となるよう成長し、安全な職場を築いていきたい。

平成29年度 労働災害防止論文 佳作

労働災害防止対策への提言

北海道クリーン・システム株式会社 渡部 裕基

近年、ビルメンテナンス業における事故防止が提唱されて久しいですが、残念ながらその数は未だゼロにはなりません。同業種における事故の発生状況は過去のデータから1年におよそ3千件、しかもこれは休業4日以上を伴う事故であり、不休事故等を含めればその数は更に膨大な数になります。何故数多くの事例、データがあり、さらには多くの人が工夫し、知恵を出しあっているのに事故はなくなるのでしょうか。

その理由の1つは、事故は「学習する」事はできても「学ぶ」事が難しいからです。事故の内容には、転倒、交通、物損、死亡等多くの種類があり、地域、天候、屋内外等条件も様々です。私達はそれを会社の文書やメール、口頭あるいはTVのニュース等で知識として「学習」する事は出来ます。しかし、それを知っているだけであって実際に体験した訳ではありません。誰しも一度は床で滑って転んだり、ふとした瞬間物を壊してしまった事位はあると思います。しかし、交通事故に遭った、多額の賠償をする程の物損事故や、人にケガをさせたという事故の体験は、普通に生きていれば遭遇しない物です。ましてや、高所から落ちて命を亡くす等の死亡事故は、当然体験しようがありません。こうした体験が出来ない物こそが事故の原因の1つであり、事故がゼロにならない要因の1つと考えます。

人は知識だけでは思う様に体を動かす事は出来ません。知識を得た上で体を動かし、身に付ける事で初めて物事にスムーズに対処する事が出来ます。こうした知識と体の総合的な習得が「学び」であり、知識を得る「学習」との違いと考えます。それに基づいて考えると、重大な事故と言うのは知ることはできても学ぶ事は難しいです。実際に体験する為に骨折してみろ、と言われても出来ませんし、車をぶつけろと言われても出来ません。ましてや体験の為に死ぬ事等もち

ろん出来ません。それ故に、事故防止をする上で一番大事な部分である事故の恐さは、ほとんど伝わる事はありません。体験できないため共感することも出来ず、会議で事故の話題が出ても、皆真剣に聞いている様で重く受け止めている人は少ないです。多くの人は「へえ、そうなんだ。気を付けよう」と漠然とした危機意識しか持てないと思います。それは聞いている人が悪い訳でも教える人が悪い訳でも無く、体験・学んでいない事は自分の事のように置き換えられないからなのです。しかし、体験出来ないから事故を無くせないと諦める訳にはいきません。ではどうしたら事故をなくすことが出来るのでしょうか。

1つの案は「イメージの増大」です。人は知識だけでは動けないと言ったことと矛盾しますが、人間には想像力という力があります。これを利用するのです。例えば、事故でケガをしたという事例を紹介したいなら、それを口で伝えるだけでなく、実際にケガをした人の映像を見せる事で、自分で体験していなくても映像と自分の過去の痛みや体験を結びつけ、イメージで事故の恐怖を生み出します。直接その事故の画像でなくとも、骨折や流血の写真等の痛みをイメージする物を使う事で伝達された内容を恐怖として覚え、注意力を持つ事が出来ます。体験が出来ないならイメージを現実近づけるのです。これに加えマネキンや壊れても良い物を使う等安全に配慮しつつ実践に近づけた訓練が出来れば、より深い学びになる筈です。

まとめとして、人は共感を得なければ関心を持ちません。昨今、事故を指導教育する方法はマニュアル化し効率化されていますが、それは知らぬ内に人に事故の恐怖を伝える力を失っているのではないのでしょうか。今回の私の提案は心情に配慮の必要な痛みを伴う方法ですが、真に事故を無くすためには本質である恐怖を伝える努力が必要ではないのでしょうか。

平成29年度 労働災害防止論文 佳作

労働災害を防止するために必要なこと

東京美装北海道株式会社 石黒健太

労働災害を防止するのは非常に困難だと言えるでしょう。

私がそう考える理由は、多くの人間が労働災害と自分自身の状況を関連付けて業務に取り組めていない部分があるからです。

たとえば、様々なヒヤリハット体験例で自分の職場環境に似ていると感じた場合は、「気をつけないと」という考えを少なからず持つと思います。しかし、そういった考えは情報が新鮮な期間であれば「危険意識」を持ちますが、時間が経過するとともに薄れていきます。これは、日々行う業務が決まった内容で変化が少ないため「慣れ」が出てくることも関係しています。慣れは培われた経験による自信がついた現われであり、同時に能力の過信となることがあります。そうすると業務に対して「油断」が生まれ、偶然起きたこと「自分には関係のないこと」という考えに変わり、業務の取り組み方が体験例を活かさず、また基本的な部分を省略した形で行う場合があり、やがて重大な問題に発展するでしょう。

このような業務のマンネリ化によって危険予知等を行わなくなり、「危険意識」が次第に日常の中に埋もれていくという流れが繰り返されているのだと思います。

では、この状況の対策は何を行えば良いか考えたとき、「慣れ」を改善するには「緊張」が必要なのだと考えます。

日常の業務に緊張感を持たせるには、普段行っていないことを取り入れて変化をつけるのが効果的だと思われます。例えば、業務開始前に

必ずKY活動を行うことで、意識的に職場や業務自体に注意を向けるようになり緊張感が生まれ、労働災害の防止に繋がると考えられます。

労働災害が発生するもう一つの原因は、「環境」が関係していると考えます。

この業界だけではないことでしょうか、人材不足や経費削減の現状から、一人一人の業務量が増えるにもかかわらず作業時間は変わらず行わなくてはならない、もしくは業務内容を変えず作業時間を短縮させているといった環境があるかと思います。こういった職場の環境が、一つ目の原因と違い、業務を時間内で行うことに意識を傾けすぎてしまい、身の回りへの「危険意識」が薄くなり、時間短縮のために危険な行為を行い労働災害に発展することも少なくないと考えられます。

この問題は、業務担当者与管理者だけではなく会社として取り組みが必要なだけに、大きな課題と言えるでしょう。

やはり、労働災害を防止するには困難な課題が未だ多くあると思われます。世の中の影響を受け、会社そして職場そのものも厳しい状況になっていることも事実ですが、管理体制の見直しや適切な人材の配置等、労働災害を抑制するために出来ることは必ずあります。ただ、業務担当者の視点・管理者の視点だけではお互いに見えなくなっていることもあると思うので、コミュニケーションを密にとり、業務に追われるのではなく、ゆとりと適度な緊張感を保った、より良い職場環境を目指し続けることが労働災害防止に繋がることでしょう。

平成29年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

気を抜くな 一度の妥協が命取り みんなで築こう ゼロ災害

北海美掃株 小林 隆一

銀賞

あなたの“ヒヤリ”と私のハット 出しあうことで みんなのものに

第一美装株 小野寺 千登世

手抜きせず 無理せず 無視せず 再確認

ホクビサービス株 大橋 美智子

銅賞

焦らず 無理せず 一呼吸、手元 足元 再確認！

札幌施設管理株 星野 勝志

油断せず プロだからこそ まず基本

北海道互光株 桂畑 慎也

思い込み“たぶん、だろう”が命取り

ホクビサービス株 根本 逸子

佳作

合図よし！目でよし！手でよし！ ゼロ災害

ホクビサービス株 佐藤 和枝

焦らず 無理せず 過信せず 目指すはゼロ災 明るい職場

北海道クリーン開発株 北井 未都孝

あれ おかしい 心の違和感 見過ごすな

東京美装北海道株 札幌支店 堀越 徹也

安全と信頼 守るも無くすも あなた次第

ホクビサービス株 大橋 玲子

確認したつもり 注意したつもり つもり積もって事故となる

東京美装北海道株 札幌支店 今 信貴

かけ声かけて かけ合って 仲間を救う その気持ち

日本クリーン北海道株 齊藤 裕子

気を抜くな ゆるむ心に ひそむ事故。

札幌施設管理株 宮川 直幸

勤務中 外すな 心の安全ベルト

協和総合管理株 岩下 力

心のあせりが 事故を呼ぶ 急ぐ時ほど ひと呼吸

日本クリーン北海道株 酒井 和子

想定外 それでは済まぬ 油断事故	協和総合管理株	伊 井 玉 枝
他人事 事故はあなたの 背後にも	協和総合管理株	宮 島 さち子
「手間を惜しまず手順を厳守！」 災害防止は日頃から	(株)ベルックス	川 崎 直 人
止めたはず、切ったつもりが事故のもと、指差し確認で安全作業	北海道クリーン・システム株	森 本 晋 生
一人が感じたヒヤリハット みんなで活かせばゼロ災害	東京美装北海道株 苫小牧営業所	早 川 義 則
みんなで考え みんなで達成 災害ゼロの明るい職場。	札幌施設管理株	藤 城 和 也
無理と無駄 無くして 目指せ ゼロ災害	ホクビサービス株	中 野 トミ子
モチベーション 高めて防ぐ ヒューマンエラー	東京美装北海道株千歳支店	木 島 仁



各地区協トピックス

札幌 ●経営セミナー

8月9日(木)13:30より16:00まで、ビルメンテナンス会館において、26社、80名もの皆様にご参加をいただき、毎年恒例の札幌地区経営セミナーを開催しました。

本年は、元STVアナウンス部長で、現函館大学教授の小林裕幸氏をお招きし、『現代におけるリーダーのあり方』と題したテーマでご講演いただきました。

冒頭の中村光威会長の挨拶では、「リーダーの資質を備えた“人財”が育つ、魅力あふれる組織をつくり上げていく姿勢が、わが業界にも不可欠。セミナーを通じて、そのヒントをつかんでほしい」との言葉がありました。

続いて、小林裕幸氏の講演では、前半・後半の部に分けて「最近、自分を磨いていますか?」、「あなたの理想のリーダー像は?」、「コーチング

とは?」、「顧客満足と従業員満足」、「『孫子』と現代経営の接点」などのテーマで、スポーツ界をはじめ各界のリーダーたちと豊富な人脈を持つ小林氏ならではの、数々のエピソードを交えた講話をいただきました。

終了後のアンケートでは、「初めて参加したが、満員の参加者で素晴らしい内容だった。次回も参加したい」、「経営者ではない私でも、とても参考となる話が聴けた」、「まだまだ自分は変われると信じて努力していきたい」、「社内のみならず、社外でも、地域のリーダーとしても大いに役立てたい」、「人の話を聴くこと。あらためて大切だと思った」などの感想が寄せられ、参加者の方々から高い評価をいただくことができました。

次年度以降もより充実した経営セミナーを企画して参りますので、たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。



●ボランティア清掃

平成29年9月26日(火)、今年で8回目となる札幌市内の「児童養護施設」のボランティア清掃を、社会奉仕事業の一環として実施しました。

16社・64名の会員企業のスタッフが5施設にわかれて参加し、午前9時前から正午すぎまで、床面のワックス塗布、ガラス清掃を中心に汗を流しました。

昨年の4施設から今年は5施設となり、1施設当たりの作業員数が減る中、担当役員が事前に各施設に出向き、施設関係者と打合せのうえ清掃範囲などを決めて、奉仕活動を実施いたしました。

施設職員様からも、普段できない作業で“きれいになった”と大変喜んでいただきました。

また、今年も北海道建設新聞の取材を受け、この社会奉仕活動について記事が掲載されるなど、社会貢献の一環として評価をいただいたものと実感しております。

社会奉仕活動は、私達ビルメンテナンス業が地域社会に貢献できる事業として大切な活動ですので、今後も会員企業様には積極的に協力いただければ幸いです。

なお、ボランティアの受け入れにご快諾いただいた札幌市様および施設関係者の皆様、社会奉仕活動に参加いただいた会員企業、ならびにスタッフの皆様、資機材協賛等のご協力をいただきました(株)リンレイ様、(株)セイハン様には、心より御礼を申し上げます。



旭川 ● 創立50周年記念式典並びに祝賀会

10月17日(水)午後5時より旭川グランドホテルにおいて、北海道ビルメンテナンス協会旭川地区協議会による「創立50周年記念式典並びに祝賀会」が、ご来賓や会員の皆様など総勢200名の方々が出席され盛大に開催されました。

旭川地区協議会 山田春雄会長の挨拶、3名の歴代会長への特別功労者表彰の後、旭川市長西川将人、上川総合振興局長 渡辺明彦、旭川労働基準監督署長 木村敏宏、全国ビルメンテナンス協会会長 一戸敏夫、北海道ビルメンテナンス協会副

会長 逸見龍馬、ビデオメッセージによる北海道ビルメンテナンス協会顧問 橋本聖子参議院議員祝辞を戴き、北海道ビルメンテナンス協会副会長 岡田知己の乾杯の発声で宴が始まりました。

祝宴では、今津前衆議院議員、加藤北海道議会議員、東北海道議会議員、笠木旭川市議会議長よりお祝いの言葉を戴き、生ピアノ演奏、ダンサー等で大変盛り上がりおりました。

閉会の言葉では、旭川地区協議会副会長 梶沼由美で無事成功に終了致しました。



創立50周年記念式典並びに祝賀会



山中副会長 開会の言葉



山田会長挨拶



木村歴代会長



渡辺歴代会長



西川旭川市長



渡边上川総合振興局長



木村旭川労働基準監督署長



一戸全国ビルメンテナンス協会会長祝辞



逸見副会長



橋本参議院議員ビデオメッセージ



来賓者等による鏡開き

北見 ●パークゴルフ大会

9月6日(水)暑すぎる位の良い天候の中、北見地区協議会パークゴルフ大会が19名の出席のもと開かれました。

日頃の練習の成果をしっかりと発揮できた方、

自身の運動不足解消の為に出席された方それぞれでしたが、同じ業界に働く者同士、各社の垣根を越えて親睦できたものと思います。

この企画を準備段階からご尽力下さいました北海道クリーンシステム(株)様には心から感謝申し上げます。



釧路 ●障がい者雇用セミナー

11月28日(水)障がい者雇用セミナーを釧路市交流プラザさいわいにて会員及び賛助会員並びに非会員併せて26名の参加をいただき開催しました。

当該セミナーは共生社会の推進と障がい者へ理解を深めることにより社会に貢献するとともに、雇用拡大、継続につなげ、業界が抱えている人材不足問題の解消を図ることを目的としており、今年で3回目の開催となりました。

第一部は今年4月に北海道釧路鶴野支援学校の第一期卒業生を雇い入れた会員3社（東洋実業、

東京美装北海道、セントラルビルサービス ※北海道クリーンシステム欠席）による、雇用状況発表会を行いました。3名とも雇用状況は良好で、それぞれの職場で活躍している様子、スムーズに職場に溶け込むための工夫、今後の課題等が発表されました。

第二部は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部 高齢・障害者業務課 平井啓祐 様により障害者雇用納付金制度の解説と助成金の説明と活用事例並びに申請のポイント、就労支援に関する様々な取り組みについてご講演をいただきました。

第三部は北海道鶴野支援学校 高等部教諭 犬養 浩一郎 様により特別支援学校の現状、釧路鶴野支援学校の卒業生の進路状況並びに進路指導の現状、職場での合理的配慮と定着に向けたヒントを講演いただき、障がい者の新規雇い入れ、雇用継続に役立つ情報をご説明いただきました。

前段でもふれました通り、今年度は北海道釧路鶴野支援学校の第一期卒業生を会員企業4社で受け入れることができ、平成26年開校来、作業学習の実技指導、現場実習受け入れ等で支援してきたことの成果を形作ることができました。

今後の課題としては、現在のサポート体制のより一層の充実と、雇用した人財の継続と育成、並

びに来年以降の卒業生の受け入れ態勢の強化が挙げられます。

釧路地区協議会では、一人でも多くの皆様に障がいに対する知識の習得、障がい者への偏見の解消と理解を深めるための事業を継続し、当該活動のより一層の充実を図ってまいりますので、関係する皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、何かとご多用にもかかわらず講師をお勤めいただきました皆様、講師派遣を承諾いただきました各団体の皆様に厚く御礼申し上げます。



十勝 ●社会奉仕活動

10月30日(月)午前8時50分より、「十勝地区協議会」恒例の清掃奉仕作業を帯広市立保育所4施設においてガラス清掃および高所清掃を実施しました。

当日は会員12社、27名が参加し、高氏十勝地区協議会事務局長の挨拶、帯広市役所より感謝の言葉を頂き4施設の保育園に分かれて作業開始となりました。

参加者全員が完成度の高い技術と安全に心がけ無事終了することが出来ました。



● 苫小牧

● ビルメンテナンス業における入札制度の見直しについての要望

平成29年11月29日(木)13:30より、苫小牧市役所にてビルメンテナンス業における入札制度の見直しについての要望として水野会長より要望書の提出・説明を行いました。

苫小牧市より市長 岩倉 博文 様、議会議員 矢嶋 翼 様、財政部 斉藤部長 様、木澤契約課長 様、地区協議会より水野会長、福土副会長、石川事務局長の参加が有りました。

要望事項として

1. 最低制限価格の設定額見直し及び予定価格積算について
2. 長期契約型（5年）入札物件の契約期間中における委託契約金額見直し
3. 指名競争入札業者の選定見直し（協会加盟企業への配慮）
4. 各契約業務の再委託承認について

を掲げております。
要望に対する返答を検討して頂けるということで本日は終了しております。



● 室蘭・苫小牧合同親睦ゴルフコンペ

10月3日(木)8:30より、「エミナゴルフクラブ」にて室蘭・苫小牧の合同親睦ゴルフコンペが開催されました。昨日の雨により芝の状態は良くなか

ったようですが先日の北海道BM協議会でのコンペにも参加されているかたはくもり空でも前回に比べたら、ということで意気込んでおりました。

室蘭地区協議会安藤会長、苫小牧地区協議会水野会長より挨拶が有り、スタートとなりました。



● 函館

● ボランティア活動

函館地区協議会のボランティア活動を7月1日

(土)午前7:00から大森浜の砂浜のゴミ拾いを実施致しました。

当日は雨も降ることなく、12社26名の方が朝



早くから集合し、海岸沿いの環境美化活動を行いました。函館市のゴミ分別方法に従い、各自火ばさみとごみ袋を持って、およそ500m程の担当エリアを隈無く歩き綺麗な砂浜を取り戻しました。



潮の流れの影響もあるのか、割と綺麗な砂浜ではありましたが、更に美しい津軽海峡を望めるようになり、終わった後は皆晴れやかな気持ちで集合写真を撮ることが出来ました。



新 会 員 紹 介

正 会 員

[入 会 月] 平成29年 7 月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会社 エニシング
[協会届出代表者] ビルメンテナンス事業本部
部長 田嶋 景介
[住 所] 〒060-0041 札幌市中央区大通東7丁目18-5
ノースシティエンジニアビル6F
Tel 011-218-8807 fax 011-218-8806

正 会 員

[入 会 月] 平成29年11月
[所 属 地 区] 札幌地区協議会
[社 名] 株式会社 美 翔
[協会届出代表者] 代表取締役 一宮 順平
[住 所] 〒062-0052 札幌市豊平区月寒東2条7丁目1-16
Tel 011-300-6868 fax 011-300-6969

平成29年11月採用職員紹介

[氏 名] 近藤 敦子 (こんどう あつこ)
eメールアドレス a.kondou@kita-bm.com

投稿者

株式会社セントラルビルサービス 住川 勝利

アビリンピック全国大会

平成29年11月17日より19日までの3日間、栃木県宇都宮市にて行われた第37回全国障害者技能競技大会(とちぎアビリンピック2017)に今年3月に北海道釧路鶴野支援学校を卒業し弊社に新卒入社した、山口竜平君がビルクリ部門の北海道代表選手として出場し、全国から集った40名の代表と第一課題(カーペット床清掃)・第二課題(弾性床及び机上清掃)の2種目の技術を競い合いました。

同部門への釧路地区からの出場は初めてで、競技の様子、雰囲気もわからないまま業務の合間にビルメンテナンス協会釧路地区協議会の皆様のご指導、また山口君の母校である北海道釧路鶴野支援学校のご協力もいただき、出発直前まで練習を重ねました。

結果は残念ながら入賞まであと一步といった所でしたが、山口君は「とても貴重な経験と楽しい思い出を作らせてもらい良かったです」と前向きな感想で、今後の成長に大いに期待するところです。

今後この経験を活かし、ご支援くださいました協会の皆様に報いるためにも、協会活動へフィードバックし、少しでも業界の向上へ貢献できるよう努力してまいります。



北海道庁にて窪田副知事のもと各部門北海道代表選手とともに結団式



北海道庁にて記念撮影



競技 (第一課題)



開会式にて



競技 (第二課題)

東北・北海道BM協議会 Photo スナップ(室蘭・苫小牧)



会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味ダンス、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験談等 (題材自由) 1200文字以内

[文 芸 作 品] の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。

(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

◎ 締 切 随 時

※ 採用された作品には 記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100 (北翔 事務局)

“北翔” おすすめの製品情報や技術を募集しています。

※ 製品の特長や商品写真、問い合わせ先などA4サイズ1、2枚程度 (カラー) で原稿を作成し、北翔事務局にお送りください。

メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

編集後記

◎ あけましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

◎ 巻頭、北海道知事 高橋はるみ氏、札幌市長 秋元克広氏、から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。

◎ 東北・北海道BM協議会、第55回優良従業員表彰、労働安全衛生大会、平成29年労働災害防止論文・標語の入選作品様を掲載いたしました。

◎ 各地区協議会活動の中から数点トピックスとして掲載しました。

◎ “ビルメンひろば” に各地区協議会広報担当に協力いただき投稿作品を掲載しました。

編集責任者 広報委員長 山本有希

建築物を利用される人々の安全・衛生、快適な環境を維持・改善するため、その場所で働いている人達等に対し、法律に基づく従事者研修等を主に実施している研修センターです。



一般財団法人
北海道建築物衛生管理研修センター

〒060-0003
札幌市中央区北3条西17丁目2番3号 ビルメンテナンス会館
TEL (011) 615-1100 / FAX (011) 615-7055

”魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。



環境美化用品総合メーカー

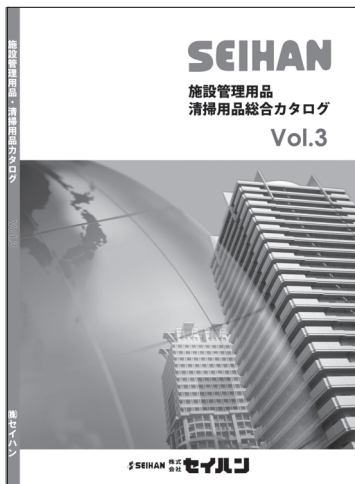
TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場
認証取得 成田工場

ISO14001 八尾サイト(八尾工場)
認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)

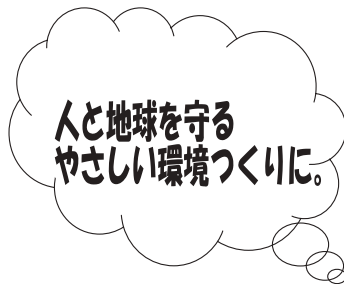




「清掃用品」はお任せ下さい。

SEIHAN 株式会社 セイハン

本社	〒003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14 TEL011-873-2000 FAX011-873-2100
旭川営業所	〒078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6 TEL0166-35-7878 FAX0166-34-7588
帯広営業所	〒080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6 TEL0155-58-2500 FAX0155-58-3300
仙台営業所	〒984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル TEL022-792-5211 FAX022-792-5220
東京事業部	〒124-0023	東京都墨田区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル TEL03-6657-7201 FAX03-3691-0887



SEIHAN



ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz





ウェットバキューム
TASKI バキューマツト 220T JBMA

平成25年度より採用

- ▶ ビルクリーニング技能検定実技作業試験 (公益社団法人全国ビルメンテナンス協会実施)
- ▶ ビルクリーニング科単一等級技能士コース訓練 (一般財団法人建築物管理訓練センター実施)

まったく新しい
フロアシール剤
が誕生しました。



SUSTAINA
ソリッドシール **抜群の耐薬品性**
業務用フロアシール剤

耐アルコール性と、各種の除菌薬剤の耐性

ソリッドシール	一般的な樹脂ワックス
---------	------------

ソリッドシール [今すぐクリック](#)

もうニオイで悩むことはありません。

トイレで気になるアンモニア臭を化学消臭
飛び散り尿かと発生するアンモニア臭をブロックして防臭



アンモニアクリア 除菌消臭
業務用トイレ用消臭剤

ニオイを元から消臭

大切な場所には、きっと。

シーバイエス株式会社 www.facebook.com/CxSJapan

●札幌営業所 / 〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1 (札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768



生活と環境に「キレイ」を届ける



刷子及び清掃用品の製造並びに販売

タケヤ刷子工業株式会社

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初! 洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER®

makes a difference

リンレイ

さらに進化したRook17シリーズ

Rook17快をさらに進化させた「Rook17快α(アルファ)」とベーシック&ハイスペックコンパクト機「Rook17 ZERO(ゼロ)」の2機種で皆様の声にお応えします。

インテリジェント サイレンス システム搭載。

Rook17



ALPHA SYSTEM



MAINTENANCE FREE BATTERY

ZERO POSITION

充実した基本性能と使いやすさを追求。

Rook17 ZERO



ALPHA SOUND



ALPHA POSITION



株式会社 リンレイ

業務製品事業本部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13 TEL.03(3541)4851(代)・東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241
札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738・福岡 092(883)7000

<http://www.rinrei.co.jp/>

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目

TEL (011) 761-8151(代)

FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！

レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種・
仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器
土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー・
高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械・
無線機・除雪機・暖房機・電設機材etc...



ロータリーモア



家族のまさお



クボタ 乗用刈払機



塵芥車 最大積載量 2t



40m



30m



12m



高所作業車 12m~40m
現場にあった機種をご用意致します！



美装用品~プロ用フロアメンテナンス機器~

SK LEASE エスケーリース株式会社
Lease&Rentall
TEL:011-775-4141 FAX:011-775-4588
本社 札幌市北区百合が原6丁目1-20
西センター 札幌市西区発寒17条3丁目
白石センター 札幌市白石区米里3条2丁目7-2
大谷地センター 札幌市白石区流道センター4丁目4-32
HP: <http://www.sk-lease.co.jp> Email: head@sk-lease.co.jp

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 札幌市東区南14条10-14(〒053-0021)

CORDLESS コードレスウェットバキューム(固定スクイジー) **ペンギンワックス** **検索**

圧倒的な作業効率！



連続稼働 70分
充電時間 60分

- ・バッテリーを搭載したままでも2階、3階へラクラク持ち運び！
- ・電源コードの制約から解放され洗浄作業が早く、効率的に！
- ・連続長時間作動、急速充電バッテリー交換も簡単！
- ・電源を探したり、ブレーカーを落とす心配も無用！

*①、②はバッテリー-LV925 充電器 CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



Allway Liコードレスマシンシリーズ
バッテリー、充電器が共有できて便利！

●汚水排出方法は2パターン



別売でツールキットもご用意しています。

●コードレスフロア BL-24Li ●WetVac H-12Li ●SP-130Li/150Li

新製品のご案内

溶剤型超強力剥離剤

1シロピックスピード10

特殊活性剤の配合により、広範囲に塗布しても乾きづらく、一気にはくりできます。

レベリング性に優れ、はじきません。

標準希釈倍率：10倍

参考ユーザー価格：9,500円/18L缶



ユシロ化学工業株式会社

北海道営業所 TEL: 0144-56-5871 FAX: 0144-56-5872

〒053-0022 北海道苫小牧市表町 5-4-7 苫小牧第一生命ビルディング 3階

RELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ①取り替え手間が3分の1
- ②収納スペースも2分の1
- ③トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレトーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

コアレックス道栄株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階
TEL(011)633-2323 FAX(011)633-4555



北海道新幹線を
ユニフォームで
支えています。



ユニフォームのことなら、私たちへご相談ください。



ほく しょう

北 翔 (新年号)通巻111号 平成30年1月20日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話 (011)615-1100・FAX (011)615-7055

発行 代表者 山田 春雄

編集者 広報委員会